

回復期リハビリテーション病棟 ご案内

新しい一歩に向けて・・・



SHOTOKUKAI 医療法人 松徳会

花の丘病院

■回復期リハビリテーション病棟とは？

リハビリテーションを専門とし、主に脳血管障害や骨折などの疾病により、機能練習を必要とする患者さまを対象として、医師・看護師・ケアワーカー・リハビリテーションスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）等が社会復帰・在宅復帰を目的としたリハビリプログラムを協同して作成し、早期かつ集中的なリハビリを提供することによって寝たきり防止と日常生活動作の復帰を図ることを目的とする病棟を言います。そのため、入院の対象となる患者や、発症からの期間等があらかじめ定められています。



■回復期リハビリテーション病棟の特徴

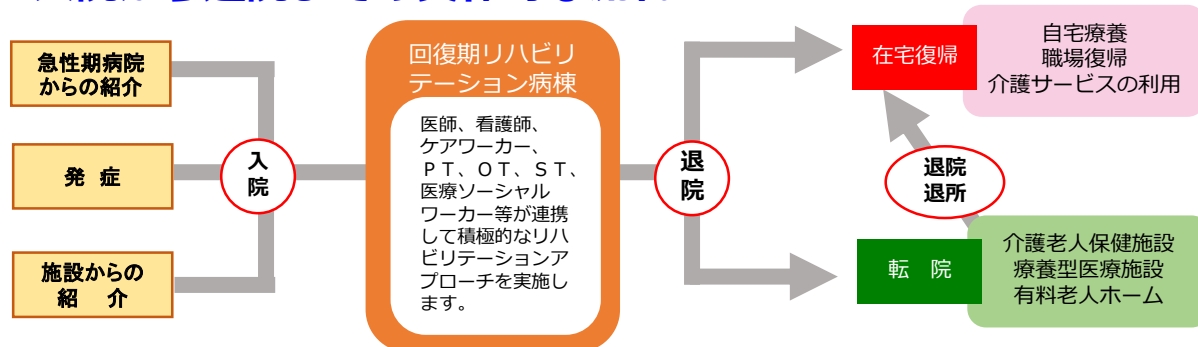
- 機能練習に適した食堂・浴室・トイレ・廊下を備えています。
- 患者さまを中心としたチーム医療のために、病棟専従スタッフを配置しています。
- 一人ひとりに応じたリハビリテーション計画を患者さまとともに考えます。
患者さまの意向にそって主体的に取り組めるよう、スタッフも一緒に考えていきます。
- 退院後の生活が円滑に行われるように支援します。
在宅生活をされる患者さまには、入院中に家屋訪問を行い、生活環境の調整を行います。



■入院の対象となる方は？

対象疾患	発症から入院
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態、又は義肢装着訓練を要する状態	2ヶ月以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	2ヶ月以内
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2ヶ月以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	2ヶ月以内
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内

■入院から退院までの具体的な流れ



発症後2ヶ月以内に回復期リハビリテーション病棟へ入院し、十分なチームアプローチにより在宅復帰につなげることを目標とします。

入院は自宅退院を第一に考え、専門のチームがリハビリテーションの評価と退院後の生活について検討していきます。

当院では、退院後もご自宅で安心して日常生活が送れるように、各種サービス、また、専門施設への転院、あるいは療養病棟にて、さらなるADL向上の支援も行い、積極的に在宅復帰へのアプローチをさせていただきます。

リハビリチームと患者さまとご家族さまが「丸」になって、一日も早い回復を目指します。

■理学療法

運動療法・物理療法・日常生活動作練習により、基本的動作能力（起き上がる・座る・立つ・歩くなど）の獲得を目指します。

■作業療法

日常生活の諸動作（食事、着替え、排泄、入浴など）、仕事・家事など生活全般に関連した動作の獲得を目指します。

■言語聴覚療法

言語障害や聴覚障害、食べることの障害（摂食・嚥下障害）のある方に対して、実用的なコミュニケーション能力の向上を目指します。

■関節可動域運動

硬くなった関節を緩めたり、関節が硬くなって動き難くならないように十分に屈曲伸展を繰り返すことで、徐々に関節が動く範囲が広がるように運動します。関節の痛みを和らげて、痛くない範囲でゆっくりと行います。

■歩行練習

骨折や術後は関節に負担がかからないように、徐々に体重をかけながら歩く練習を行います。また、脳血管疾患による後遺症の程度により、新しい歩行方法の獲得を目指します。歩行器や手すり、杖、装具などを利用して少しずつ歩ける範囲を広げていきます。

■筋肉増強運動

手術等により生じた筋力低下に対して、低下した筋力を強くしたり維持するための運動です。患者さまの状態（全身状態、疾病の治癒の程度、年齢、性別など）を考慮して実施します。

■VF（嚥下造影）検査

食べ物が気管に入っていないか（誤嚥、食物残留等）、安全に飲み込みが出来るか（摂取方法）、飲み込みの様子をレントゲンの透視検査を利用して、外からは判断できない飲み込みの問題を検査します。検査結果をもとに改善に向けた効果的なりハビリテーションを行います。

■ADL（日常生活動作）練習：在宅復帰に向けて

在宅復帰へ向けて、個々に合わせたADL（日常生活動作）練習を取り入れ、家族さまに向けて適切な介助方法を学んでいただきます。必要な患者さまには、退院前にご自宅へ訪問して必要に応じて住宅回収のアドバイスを行い、住みやすい環境づくりを目指します。



■関節可動域運動



■歩行練習(懸垂装置)



■ADL(日常生活動作)練習
：更衣練習



■ 自主トレーニング指導



■ 外出支援

当院の回復期リハビリテーションでは、患者さま一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションを行い、患者さまが機能を回復し、より良い生活を送れるようになることを目指しています。障害の軽重を問わず、患者さまにとって最も良いと思われるケアや運動、そして生活全般の援助を行うためスタッフ一同誠心誠意励んでいきます。そして、何より回復の喜びを患者さまやご家族さまと共に分かちあえることを一番の励みとして日々頑張っていますので何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 医療チームでサポートします

患者さまごとに、定期的に各スタッフが集まって合同カンファレンスを行います。情報を共有し、患者さまの変化に合わせて治療プログラムの変更などについて話し合い、患者さま一人ひとりの状態をスタッフ全体で把握できるようにしていきます。

■ 回復期リハビリテーション病棟の概要

開設／平成19年6月1日

病床数／45床

施設基準／回復期リハビリテーション病棟入院料3

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）



■ アクセスマップ



松阪ICから約8km 車で約10分
 国道166号線 桂瀬町信号より約1.7km
 国道42号線 八太町北信号より約3.5km



〒515-0052 三重県松阪市山室町707-3
 TEL: 0598-29-8700
 FAX: 0598-29-8739
 ホームページ <http://www.shoutoku.or.jp/>
 内科、婦人科、リハビリテーション科、整形外科
 回復期リハビリテーション病棟 45床
 療養病棟 51床
 通所リハビリテーション「花の丘」
 訪問リハビリテーション